MY *First* Asset Management

―いちばんにうかぶ顔に―

明治安田アセットマネジメント

最良のパートナーとして、
お客さまとともに歩みつづける。

資産運用について考える人、知りたい人が、増えています。
企業の経営においては、持続可能な社会への貢献という視点が求められています。

日本の資産運用会社として、お客さまの資産運用のパートナーとなり、
生き生きとした社会の基盤づくりに貢献する。それが、私たちの果たすべき役割。
お客さまに良質の商品・サービスをお届けし、
どんなときもいちばんに思いうかぶ顔になる。それが、私たちの願い。

MY First Asset Management
みなさまのいちばんにうかぶ顔に――。
私たちは MYAM〈マイアム〉。明治安田アセットマネジメントです。

トップメッセージ

私たち明治安田アセットマネジメント<MYAM>は、発足以来、明治安田生命グループの中核の資産運用会社として、お客さまに満足いただけるクオリティの高い資産運用サービス・商品を提供することに努めてまいりました。
近年、資産運用業界は、長期にわたる歴史的な超低金利を背景としたお客さまの資産形成ニーズの高まり、ご要望の多様化・高度化といった、適切性・迅速性を求められる対応に取り組み続けています。
また、環境、経済、社会において国際社会が協力して解決すべき課題が数多く顕在化しており、サステナブルな社会を未来に手渡すための責任ある行動が求められています。
このような状況下、私たちは資産運用会社が果たすべき公共的使命・社会的責務をよりいっそう自覚し、お客さまにふさわしい商品・サービスの提供などお客さま本位の業務運営に関する取組みを進め、社員一人ひとりが資産運用のプロフェッショナルとして、お客さまの中長期的な資産成長のために最善の努力を尽くすことで、「お客さまに最も信頼され、満足いただける資産運用会社」をめざしてまいります。

代表取締役社長
西尾 友宏
Tomohiro NISHIO

安田生命保険（現明治安田生命保険）入社後、
市場金融部、運用企画部、証券運用部等、
長年にわたり国内外の市場運用業務に従事。
2021年当社代表取締役社長。

MYAMの運用

明確で一貫性のある運用プロセスと それを実現するチームアプローチ

専務執行役員
中谷 友行
Tomoyuki NAKATANI

当社は、アクティブ運用を標榜する資産運用会社です。クオリティの高い運用を継続するため、人財への投資を絶やさず、また迅速な情報・データ収集およびそれらを分析するITの活用を積極化し超過収益の獲得をめざしてまいります。ESG投資の分野では、資産運用会社がインベストメント・チェーンのなかで果たすべき使命を深く認識し、投資先企業の企業価値向上を図るべく行動いたします。お客さまの大切な資産の中長期的な成長のため、これからも尽力してまいります。

CAREER

運用経験年数35年
大手損害保険会社、外資系証券会社等を経て、1999年当社入社以降、一貫して当社資産運用業務に従事。
2006年債券運用部長、2016年執行役員兼投信企画部長、2017年執行役員、2018年常務執行役員、2020年専務執行役員

執行役員
菅 康弘
Yasuhiro SUGA

マーケットには、収益を生み出すためのさまざまな非効率性が存在しています。これらの投資機会を余さず活用し、再現性高く安定的に収益を獲得するために、リサーチを重視した一貫性のあるプロセスで運用を行なっています。
また、市場環境の変化に応じて投資戦略の有効性も変化していくなかで、常にトップ水準のパフォーマンスをご提供できるよう、新たな投資戦略の発掘を継続し、日々、運用能力の向上を図ってまいります。

CAREER

運用経験年数27年
明治生命保険（現明治安田生命保険）、外資系運用会社を経て、2006年当社入社。
当社国内債券運用の中心的役割を担い続け、2016年債券運用部長、2020年執行役員兼債券運用部長、2023年執行役員

執行役員
藤原 徹也
Tetsuya FUJIWARA

近年、運用環境は加速度的な変化を遂げつつあり、正確な情報収集・動向分析に基づく判断、中長期的視点に立った組織的取組みの重要性がますます高まっています。
このような環境のもと、運用セクションの方向性を定める運用企画部門や、お客さまの資産の長期的な運用成果を左右する資産アロケーション部門の担当として、責任の重さを感じつつも与えられた役割を楽しんで業務に打ち込んでいます。

CAREER

運用経験年数32年
安田生命保険（現明治安田生命保険）入社後、英国駐在、米国駐在を経て、特別勘定運用部等に在籍。
当社ではグローバル運用部、クオンツ運用部長を経て2019年ポートフォリオ・マネジメント部長、2021年執行役員

2023年4月1日現在

責任ある機関投資家としての取組み

インベストメント・チェーンの一員として持続可能な社会の形成に貢献する

当社は、経営理念において「インベストメント・チェーンの一員として
持続可能な社会の形成に貢献」することを掲げています。

この理念のもと、当社は「責任ある機関投資家の諸原則（日本版スチュワードシップ・コード）」の
精神に賛同し、同コードの受入れを表明しています。

当社では、適切にスチュワードシップ責任を果たすため、
投資先企業やその事業環境等に関する深い理解と、運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき、
「目的を持った対話」（エンゲージメント）や議決権行使を行なっています。

こうした取組みが投資対象企業の企業価値向上や持続的成長を促し、
当社にとっての「お客さま・受益者」の中長期的な投資リターンの拡大に結び付くとともに、
経営理念に掲げる「持続可能な社会の形成」にも貢献するとの認識を持って、
スチュワードシップ活動を積極的に実施しています。

スチュワードシップ活動の透明性、実効性を確保するために

利益相反管理
当社は、受託者責任を果たすため、お客さまの利益を第一に行動します。
お客さまの利益と、当社およびグループ会社またはほかのお客さまとの間の利益相反について、議決権行使を含む取引の類型・管理等を明確化した社内規程を定め、適切なコンプライアンス態勢のもと管理を行ないます。

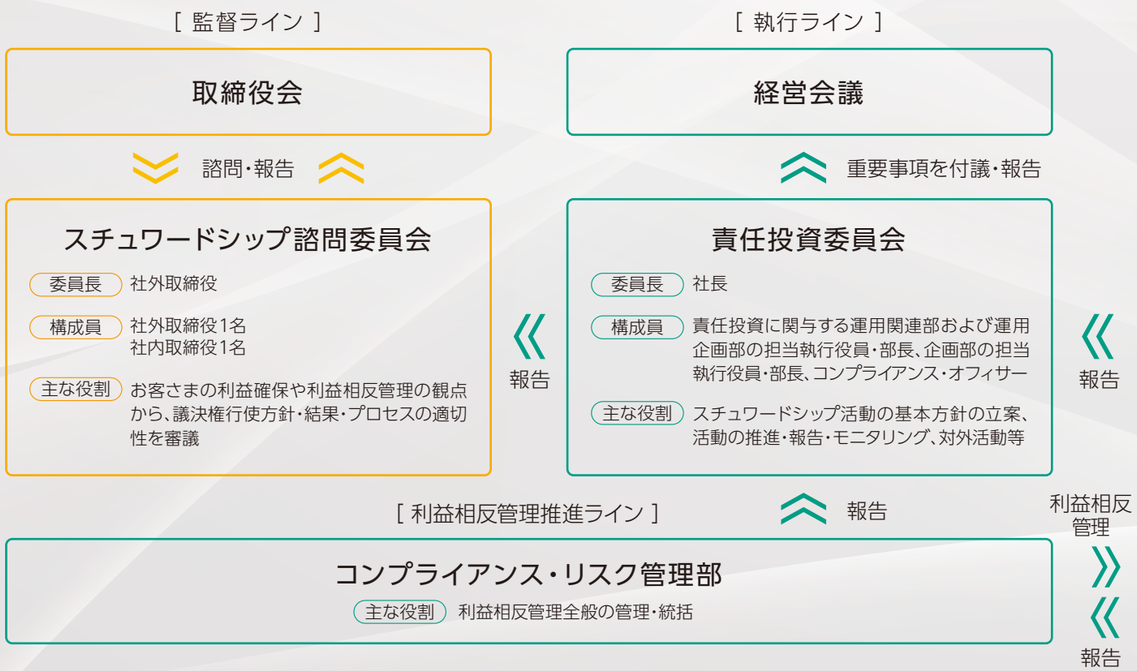
情報開示
スチュワードシップ責任を果たすための方針をホームページに公表するほか、その取組状況（取組結果）について、毎年、社内において報告を行なうとともに、ホームページにもその概況を掲載し、広くお客さまに開示を行ないます。
＜ホームページ＞ https://www.myam.co.jp/about/stewardship.html

実力養成
国連責任投資原則活動への参加など、ほかの投資家や専門的知見を有する方々との意見交換等を通じて、スチュワードシップ活動のよりいっそうの研鑽および効果的な運用に努めます。

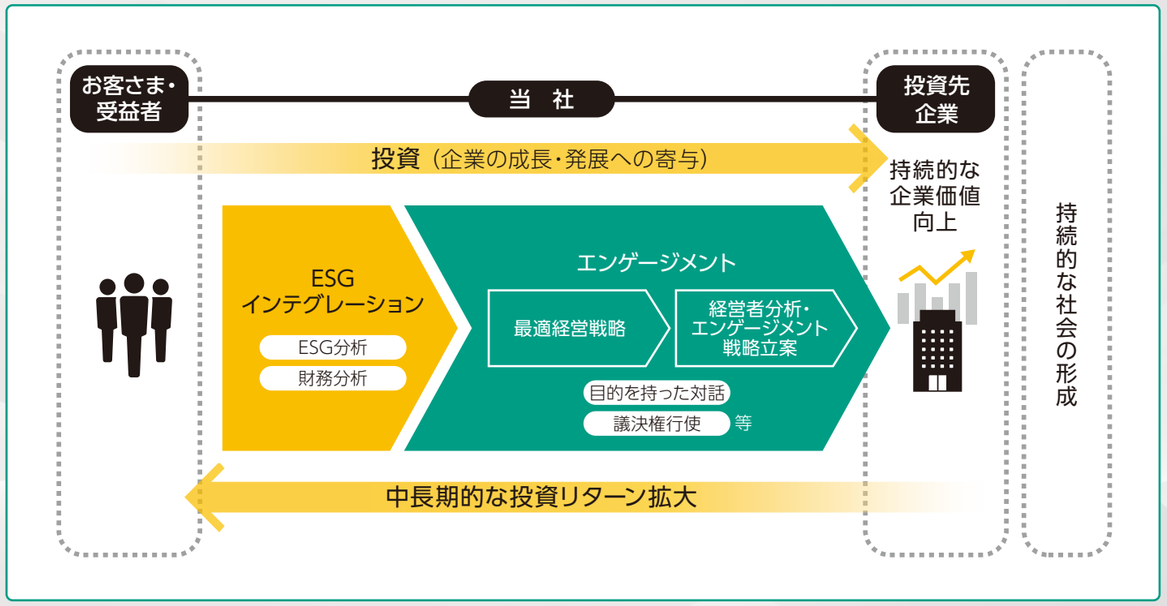
■イニシアティブへの参画

- 国連責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）：2016年3月署名
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）：2019年12月賛同表明
- 持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）：2016年3月署名
- 協働対話フォーラム：2020年2月参加
- The Net Zero Asset Managers initiative（NZAM）：2023年1月加盟

■責任投資の推進体制



〈 スチュワードシップ活動 〉



中長期的に良好で持続可能な運用成果を実現して いくために

調査・運用プロセスにおけるESG（環境・社会・ガバナンス）

資産運用会社としての社会的責務を果たしていくため、投資先企業の財務的要素に加えて、投資先企業のサステナビリティ(持続可能性)にとって重要と考えられる非財務情報であるESGについても、適切に考慮した投資を推進してまいります。

「社会的価値の創造」と「経済的価値の創造」の両立により持続可能な企業価値向上が実現されると考えます。

ESGインテグレーション分析

長期投資により運用資産の最大化をめざすためには、社会的価値（ESG）と経済的価値（財務）の両面を充たすマテリアリティ項目を重視したESGインテグレーション分析が重要であると考えます。

ESGを統合し持続可能性を伴った最適経営戦略を策定

当社独自のプラットフォームを活用することで企業価値向上に向け持続可能性を伴った最適経営戦略の実現、および再現性を高めることをめざします。

エンゲージメント

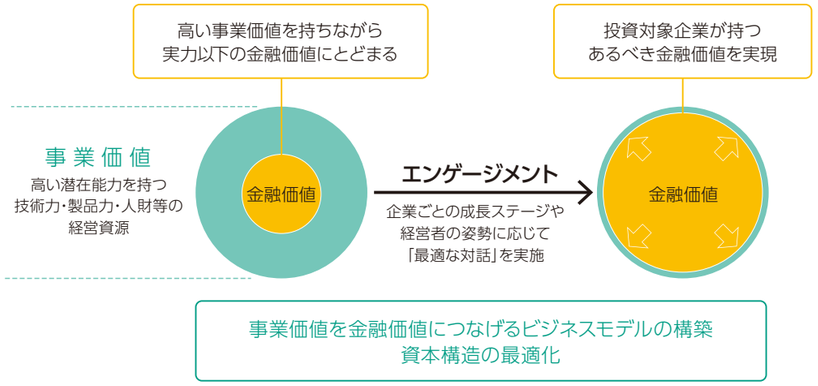
個別対話	議決権	協働対話フォーラム	欧米投資家との連携

投資後も長期保有を前提とし、議決権行使を含むさまざまなエンゲージメントを継続的に実施します。

社会的価値、経済的価値の同時実現による持続可能な企業価値向上により、
運用資産の最大化をめざします

エンゲージメント機会、意義

高い事業価値を持ちながら、実力以下の金融価値（株価）にとどまる企業に対し、エンゲージメントにより、あるべき姿を実現します。



General Manager Message

責任投資は、お預かりしたお客さまの資金による投資を通じて企業と資本市場をつなぐ、金融機能としての重要な役割を担っております。当部では、企業への議決権行使や対話を通じて「持続的な社会の形成」に向けた当社経営理念の一翼を担うと共に、投資先企業の経営層にエンゲージメントを行なうことで持続可能な企業価値向上を支えてまいります。とりわけ持続可能性を担保するには、環境や社会課題への貢献や対応を通じた成長戦略、つまりESG要素を加味した経営戦略が必要です。この戦略立案に重点をおいたエンゲージメントにより、投資先企業の企業価値最大化を通じた受託資産価値の拡大にまい進し続けてまいります。

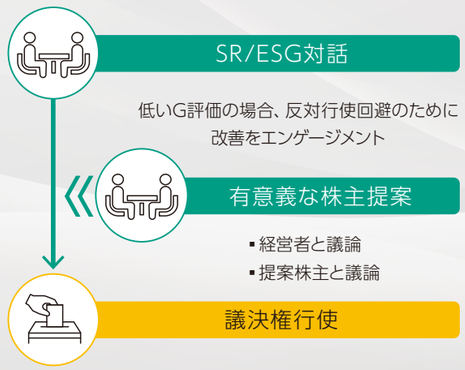
株式運用部長 兼 責任投資部長　鐘ヶ江　弘伸
Hironobu KANEGAE

議決権行使に対する基本的な考え方

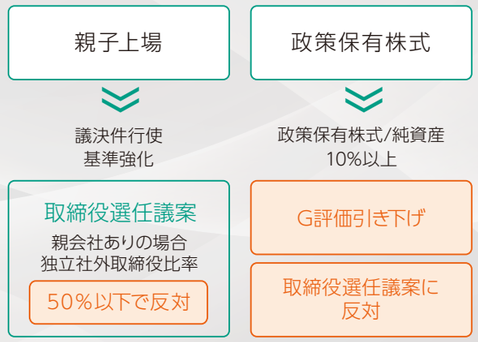
- 議決権行使をエンゲージメント活動の一環と位置付け
- 基本はコーポレートガバナンス・コード
- これを踏まえ、社内ESG評価基準を策定
- うち重要事項を議決権行使基準に反映
- 格付が低い企業に対して、対話による改善が見込まれないと判断した場合、会社側提案に反対行使

当社における「スチュワードシップ活動」および「スチュワードシップ活動の振り返りと自己評価」については、最新のスチュワードシップ・レポートも併せてご覧ください。
https://www.myam.co.jp/about/stewardship.html

■ 議決権行使のフロー



■ 最近の基準の改訂事例

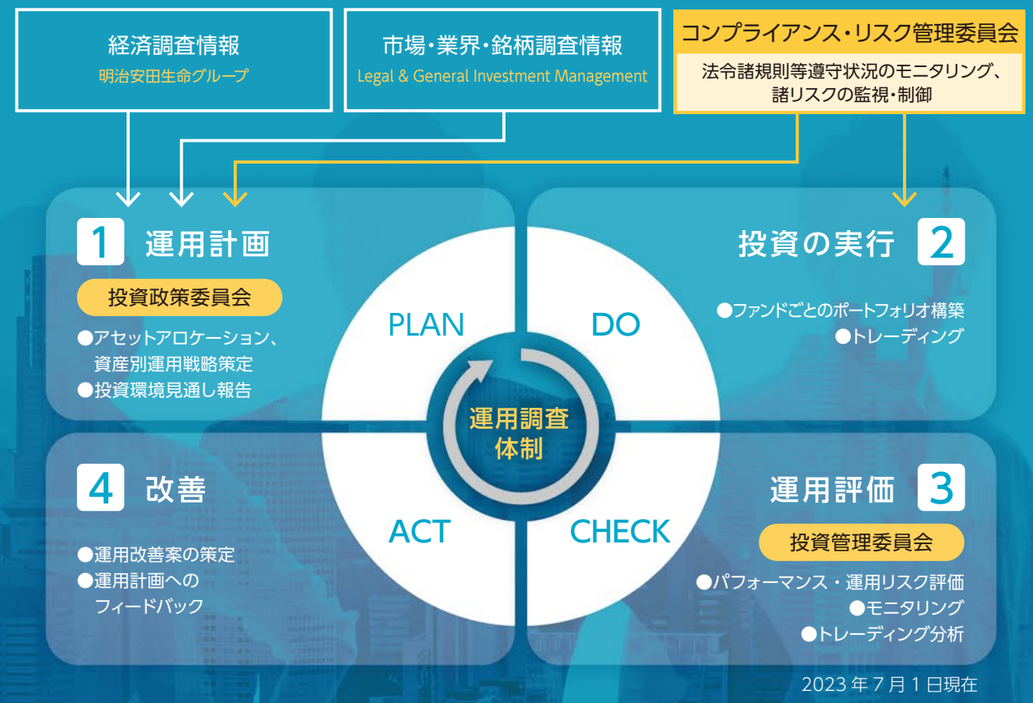


運用哲学

資産の価値は中長期的にはファンダメンタルズ要因に基づき
決定されるとの考えのもと、
マーケットの非効率性を捉えた超過収益の獲得は可能と考えます。

クオリティの高い調査・分析に基づいたアクティブ運用を中心として、
各アセットクラスおよび運用スタイルでそれぞれの特性を活かした運用を行ない、
付加価値の創造をめざします。

チームアプローチによる明確で一貫性のある運用プロセスと、
厳格なリスクコントロールを通じて、
高品質で安定性の高い運用サービスの提供を行ないます。



2023年7月1日現在

社員一人ひとりが資産運用のプロフェッショナルとして、お客さまの中長期的　な資産成長のために最善の努力を尽くす

ポートフォリオ・マネジメント部長
佐藤　直輝
Naoki SATO

複雑化する運用環境のなか、マーケットの状況と変化の兆しを的確に把握して確信度の高い運用戦略を策定するために、各運用部との密接な情報連携を踏まえて各自が考え抜き、深度ある議論を重ねることが重要と考えています。お客さまに安定した超過収益をお届けできるアセットアロケーション決定のため、より専門性を高めてまいります。

株式運用部長 兼 責任投資部長
鐘ヶ江　弘伸
Hironobu KANEGAE

目標は、ファンダメンタルズ分析に基づくアクティブ運用による超過収益の獲得です。ボトムアップ・リサーチを付加価値の源泉とし、優れた経営戦略に基づいた中長期視点での高い成長力や継続性に対して割安な銘柄の発掘に努めるとともに、適切なリスクコントロールのもと、効率的かつ安定的な超過収益の獲得を追求してまいります。

グローバル債券運用部長
藤田　隆二郎
Ryujiro FUJITA

経済ファンダメンタルズと市場分析を重視したアクティブ運用を中心に取り組んでいます。多様な運用プロフェッショナルの知見を活かし、綿密なリサーチによって確立された一貫性のある運用プロセスのもと、外国債券投資におけるさまざまな収益機会を発掘します。このような姿勢は昨今の不確実な環境下で特に有益であると考えています。

クオンツ運用部長
藤原　崇臣
Takaomi FUJIWARA

確率、統計や金融工学などの数学的手法を活用したマーケット分析の知見をもとに運用モデルを開発します。日本株式・外国株式が中心ですが、投資対象を限定することなくマルチアセットの新たな運用手法の開発を目的とし、幅広いリサーチに積極的に取り組んでいます。精緻かつ大胆に、そして再現性の高さを心掛けています。

トレーディング部長
天野　岳
Gaku AMANO

運用パフォーマンスへの貢献を常に意識し、市場の状況や価格等を総合的に勘案したうえで最良執行を図っています。執行方法やタイミング選定など、運用担当者の意図を理解し、執行コストの低減につなげます。また、積極的なシステム強化、執行価格の向上や発注ミス未然防止、業務効率化を常に意識し、業務改善に努めています。

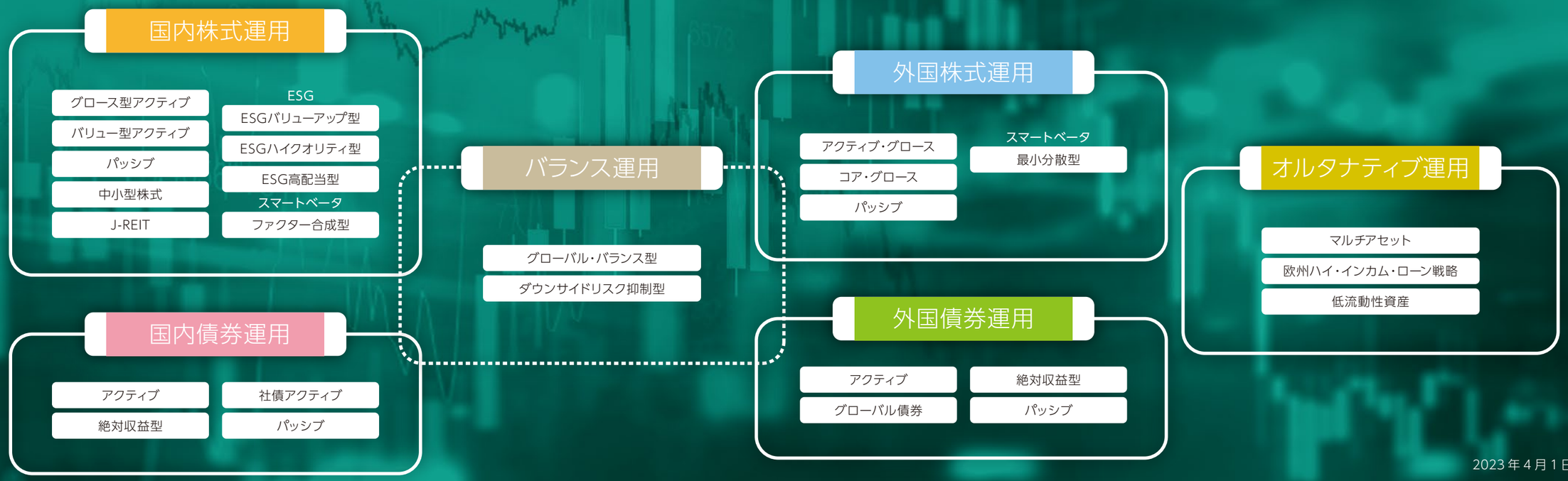
運用企画部長
平野　貴信
Takanobu HIRANO

運用部門がより高度な運用に果敢に挑戦し新しい価値を創造する態勢整備の推進役を担うとともに、最重要課題の一つである運用リスク管理の実効性を引き上げるべく、独立した組織としてモニタリング機能を担当しています。機能を拡充し、クオリティの高い資産運用サービス・商品をご提供するために、日々改善に努めています。

年金のお客さま向けの代表的な商品ラインナップ

年金向け標準商品

》》 高度化・多様化する運用ニーズに対応するため幅広い商品ラインナップをご用意し、お客さまとの　対話を通じて最良のご提案をいたします。



2023年4月1日現在

お客さまの利益を最優先にベストエフォートを尽くす

対話重視の姿勢から生まれる最良の提案

お客さまの運用方針を十分に理解するために当社営業担当一人ひとりが大切にしていること、それはお客さまとの「対話」です。専門性と豊富な経験を持つ営業担当が、徹底的な対話を通じてお客さまの目標とする投資成果やお客さまが抱える財政上の課題などを総合的に判断し、解決へ向け最良の提案を実施します。

お客さまのご期待に応える商品ラインナップ

市場環境が刻々と変化する時代に、お客さまが目標とする投資成果の安定的かつ長期的な確保は難しくなっています。このような状況下においてもお客さまの高度化・多様化する運用ニーズに対応するため、当社では安定運用から収益追求まで幅広い商品をご用意しています。お客さまにふさわしい商品をさまざまな組み合わせでご提示することが可能です。

新しいαの追求

「これまでにない価値をお届けする」ことも私たち資産運用会社の使命です。例えば、近年社会的な関心を集める「ESG」を企業の持続的成長と結びつけ、投資判断の基準として用いるESGファンドにも力を入れています。“新しいα”の追求に全力を尽くし、お客さまへの良好な投資機会のご提供とお客さまの資産運用に貢献するために挑戦を続けてまいります。

Chief Executive Message

最も信頼されるアドバイザーをめざして

法人本部は、年金基金や金融法人をはじめとする機関投資家のお客さまに、多様な運用商品とサービスを提供しております。私たち資産運用会社の使命は、お客さまとその先の従業員や預金者のみなさまの大切な資産を安定的かつ長期的に増やしていくこと。そのために、私たちは常に最も信頼されるアドバイザーをめざし、お客さまの声を聴き、考えを巡らせ、お客さまの利益を最優先にベストエフォートを尽くします。

執行役員　法人本部長　岡田　洋太郎
Yotaro OKADA

お客さまの想いをともに叶えるために

〉〉〉お客さまの大切な想いを託された私たちは、新しい価値を創造すべく日々果敢に挑戦し、最善の　努力を尽くしお客さまの中長期的な資産形成に貢献いたします。

■ 私たちの投資信託商品がお客さまに届くまで（イメージ図）

商品アイディア ＞ 商品検討部会 ＞ 商品検討会 ＞ 販売会社商品提案 ＞ 商品採用 ＞ 販売会社商品勉強会 ＞ お客さまのお手元へ ＞ お客さまセミナー等

■ お客さまのニーズは？
■ わかりやすい商品コンセプトか？
■ リスク管理に問題はないか？
■ 安定して供給できるか？

■ お客さまのニーズに応えられるか
■ 事務処理・手続きは適切に行なうことができるか
■ コンプライアンス上問題ないか
■ 商品概要作成、商品提案資料作成　など

リテール本部から関連部署へ

■ 商品コンセプト
■ お客さまへの想い

■ 販売会社と『お客さまへの想い』を共有し、商品を通じて、その想いを伝えるためのプロモーション等を企画・立案

■ 研修・勉強会等を通じて、ファンドのコンセプト、お客さまへお伝えしたいこと等を共有

私たち　MYAM〈マイアム〉から販売会社へ

■ 販売会社を通じて商品をお客さまのお手元に
■ お客さまへわかりやすい情報をご提供

販売会社からお客さまへ

お客さまの想いを叶えるための3つのC

C 創造 Creation

私たちは、お客さまの想いを形にするために、新しい価値の創造へ果敢に挑戦します。
役職員一人ひとりが、資産運用のプロフェッショナルとして、お客さまのニーズや課題を理解しソリューションを提供いたします。

C 対話 Communication

私たちは、お客さまの想いに耳を傾け尊重し、私たちの想いもしっかりお伝えし行動します。
役職員一人ひとりが、お客さまの大切な想いを受けとめ、その想いの実現に向けともに考え、より多くのお客さまにご満足いただけるサービスをお届けいたします。

C 責任 Commitment

私たちは、お客さまの想いに責任を持って関わり、ともに成長します。
役職員一人ひとりが、資産運用会社が果たすべき公共的使命・社会的責任をよりいっそう自覚し、お客さまにふさわしい商品・サービスの提供などお客さま本位の業務運営に関する取組みを進めてまいります。

Chief Executive Message

お客さまに最も信頼され、満足いただくために

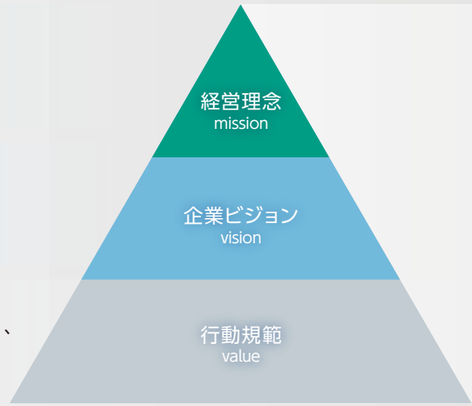
リテール本部では、お客さまに寄り添い、お客さまのニーズや課題に耳を傾け、仮説を立てソリューションの提供に努めてまいります。また、販売会社のみなさまや働く仲間と協働し、タイムリーにわかりやすい情報の提供を行ないます。
『お客さまに最も信頼され、満足いただける資産運用会社』、それが私どもの願いです。

執行役員　リテール本部長　竹内　敦子
Atsuko TAKEUCHI

私たちMYAMの企業理念構成

〉〉〉当社は経営理念、企業ビジョン、行動規範を定め、企業活動を展開しています。

私たちは何者で mission	当社の存在意義や使命
何をめざし vision	経営理念に基づく、 長期的な当社のめざす姿 －4つの絆－
何を大切に しているか value	経営理念と企業ビジョンの実現に向けて、 役職員が大切にすべき価値観



経営理念

私たちは、お客さまに最も信頼され、
満足いただける資産運用会社をめざすとともに、
インベストメント・チェーンの一員として
持続可能な社会の形成に貢献します。

企業ビジョン

〈 お客さまとの絆 〉

資産運用のプロフェッショナルとして、
クオリティの高い資産運用サービス・商品を
提供します。

〈 社会との絆 〉

コンプライアンス・リスク管理を徹底し、
資産運用会社としての公共的使命・
社会的責務を果たすことにより、
社会とともに発展する企業をめざします。

〈 未来世代との絆 〉

未来の世代を想い、
持続可能で希望に満ちた
豊かな社会づくりに貢献します。

〈 働く仲間との絆 〉

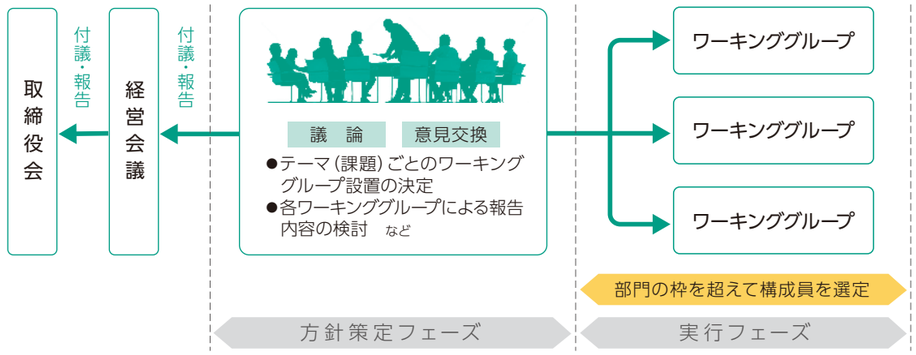
挑戦意欲や多様性を尊重し、
役職員が意欲的に能力を発揮できる
良好な職場環境づくりに努めます。

企業ビジョンの実現に向けて

■社長を委員長とし、執行役員を中心とした経営層による「企業ビジョン実現推進委員会」を設置しています。

■顧客本位の業務運営に関する原則やフィデューシャリー・デューティーなど、資産運用会社としての社会的責務の遂行を含む、企業ビジョン実現への取組みを推進します。

■企業ビジョン実現推進委員会



働く仲間との絆

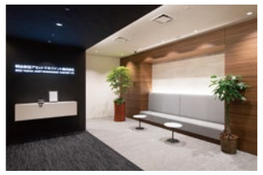
挑戦意欲や多様性を尊重し、役職員が意欲的に能力を発揮できる
良好な職場環境づくりに努めます。

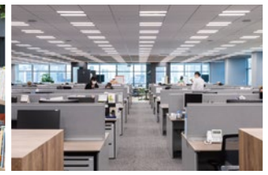
移転プロジェクト・チームリーダー

運用企画部
運用リスク管理グループ
グループリーダー
長沼　忍
Shinobu NAGANUMA

若手・中堅社員主導で「風通しがよく、より意欲的に働けるオフィス」を実現

近年の業容拡大に伴う増員でスペースが不足してきたことなどから、2020年12月に新オフィスへ移転しました。
移転プロジェクトでは、社内公募による若手・中堅で構成されたメンバーが中心となって「どう働きたいか」について議論を重ねました。そのなかで、「違う部署の人がどのような仕事をしているかわからない」といった意見が出たことで、コミュニケーション不足の解消というテーマが浮かび上がってきました。
これを踏まえ、3フロアだった執務フロアを1フロアに集約。各所にコミュニケーションを活性化するスペースを設けたことで「風通しがよく、より意欲的に働ける」オフィスが実現し、業務上も好循環が生まれるようになりました。より自由で効率的な働き方を見据え、今後もオフィスの活用方法について、議論を継続してまいります。





働く仲間と互いに助け合い、ともに成長できる職場環境づくり

当社では、社員一人ひとりが職務経験を通じ専門性の研鑽に努め、プロフェッショナルとして「互いに助け合い、ともに成長する」職場環境づくりを推進しています。
特に若手社員には部門横断的に業務を学ぶ機会を提供し、会社全体で後進を育成することで協働の大切さを浸透させています。
また、多様性こそが組織が発展・継続していく強みであると認識し、さまざまなバックボーンを持つ社員一人ひとりが自分らしく活躍できるように、キャリア教育や社内キャリアコンサルタントによる面談を実施しています。自ら果たすべき役割と望むライフスタイルを認識し、“ライフも含めたキャリアプラン”を主体的に描くことが多様性の受容へとつながり、そして「互いに助け合い、ともに成長する」職場環境へつながると考えています。
今後も会社の持続的成長に向けた人財開発の取組みを推進してまいります。

人財開発部長
小倉　理美
Rimi OGURA

明治安田アセットマネジメント公式サイトでは
より詳しい当社の取組みや情報・データ等を掲載しています。

明治安田アセット　検索
https://www.myam.co.jp/

MYAM

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

2023.06 Ver.04